

【表紙】

【提出書類】	半期報告書の訂正報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成19年7月30日
【中間会計期間】	第5期中（自平成18年4月1日至平成18年9月30日）
【会社名】	株式会社みずほコーポレート銀行
【英訳名】	Mizuho Corporate Bank, Ltd.
【代表者の役職氏名】	取締役頭取 齋藤 宏
【本店の所在の場所】	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
【電話番号】	東京（3214）1111（大代表）
【事務連絡者氏名】	主計部次長 内田 盛康
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
【電話番号】	東京（3214）1111（大代表）
【事務連絡者氏名】	主計部次長 内田 盛康
【縦覧に供する場所】	証券取引法の規定による備置場所はありません。

1【半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成18年12月27日に提出いたしました第5期中（自平成18年4月1日至平成18年9月30日）の半期報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移

第2 事業の状況

1 業績等の概要

第5 経理の状況

1 中間連結財務諸表等

(1) 中間連結財務諸表

注記事項

(デリバティブ取引関係)

3【訂正箇所】

訂正箇所は_____を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

(1) 最近3中間連結会計期間及び最近2連結会計年度に係る主要な経営指標等の推移

(訂正前)

		平成16年度中間 連結会計期間	平成17年度中間 連結会計期間	平成18年度中間 連結会計期間	平成16年度	平成17年度
		(自平成16年 4月1日 至平成16年 9月30日)	(自平成17年 4月1日 至平成17年 9月30日)	(自平成18年 4月1日 至平成18年 9月30日)	(自平成16年 4月1日 至平成17年 3月31日)	(自平成17年 4月1日 至平成18年 3月31日)
連結自己資本比 率(国際統一基 準)	%	13.48	12.91	<u>12.81</u>	14.64	<u>12.87</u>

(注) <略>

(訂正後)

		平成16年度中間 連結会計期間	平成17年度中間 連結会計期間	平成18年度中間 連結会計期間	平成16年度	平成17年度
		(自平成16年 4月1日 至平成16年 9月30日)	(自平成17年 4月1日 至平成17年 9月30日)	(自平成18年 4月1日 至平成18年 9月30日)	(自平成16年 4月1日 至平成17年 3月31日)	(自平成17年 4月1日 至平成18年 3月31日)
連結自己資本比 率(国際統一基 準)	%	13.48	12.91	<u>12.75</u>	14.64	<u>12.81</u>

(注) <略>

(2) 当行の最近3中間会計期間及び最近2事業年度に係る主要な経営指標等の推移

(訂正前)

回次		第3期中	第4期中	第5期中	第3期	第4期
決算年月		平成16年9月	平成17年9月	平成18年9月	平成17年3月	平成18年3月
単体自己資本比率(国際統一基準)	%	13.67	12.77	<u>13.91</u>	14.16	14.00

(訂正後)

回次		第3期中	第4期中	第5期中	第3期	第4期
決算年月		平成16年9月	平成17年9月	平成18年9月	平成17年3月	平成18年3月
単体自己資本比率(国際統一基準)	%	13.67	12.77	<u>13.95</u>	14.16	14.00

第2【事業の状況】

1【業績等の概要】

業績

(3) 自己資本比率

(訂正前)

国際統一基準による連結自己資本比率は前年同期比0.1ポイント低下し12.81%、また単体自己資本比率は同1.14ポイント上昇し13.91%となっております。

(訂正後)

国際統一基準による連結自己資本比率は前年同期比0.16ポイント低下し12.75%、また単体自己資本比率は同1.18ポイント上昇し13.95%となっております。

(自己資本比率の状況)

(参考)

<略>

連結自己資本比率(国際統一基準)

(訂正前)

項目		平成17年9月30日	平成18年9月30日
		金額(百万円)	金額(百万円)
リスク・アセット等	資産(オン・バランス)項目	29,696,134	33,674,037
	オフ・バランス取引項目	4,740,263	5,842,899
	信用リスク・アセットの額 (F)	34,436,397	39,516,937
	マーケット・リスク相当額に係る額((H)/8%) (G)	1,358,020	<u>1,836,444</u>
	(参考)マーケット・リスク相当額 (H)	108,641	<u>146,915</u>
	計((F)+(G)) (I)	35,794,417	<u>41,353,381</u>
連結自己資本比率(国際統一基準) = E / I × 100 (%)		12.91	<u>12.81</u>

(注) <略>

(訂正後)

項目		平成17年9月30日	平成18年9月30日
		金額(百万円)	金額(百万円)
リスク・アセット等	資産(オン・バランス)項目	29,696,134	33,674,037
	オフ・バランス取引項目	4,740,263	5,842,899
	信用リスク・アセットの額 (F)	34,436,397	39,516,937
	マーケット・リスク相当額に係る額((H)/8%) (G)	1,358,020	<u>2,016,066</u>
	(参考)マーケット・リスク相当額 (H)	108,641	<u>161,285</u>
	計((F)+(G)) (I)	35,794,417	<u>41,533,003</u>
連結自己資本比率(国際統一基準) = E / I × 100 (%)		12.91	<u>12.75</u>

(注) <略>

単体自己資本比率（国際統一基準）

（訂正前）

項目		平成17年 9月30日	平成18年 9月30日
		金額（百万円）	金額（百万円）
リスク・アセット等	資産（オン・バランス）項目	30,016,620	32,793,018
	オフ・バランス取引項目	4,421,148	5,571,160
	信用リスク・アセットの額 (F)	34,437,768	38,364,179
	マーケット・リスク相当額に係る額（(H) / 8%） (G)	153,462	<u>266,273</u>
	（参考）マーケット・リスク相当額 (H)	12,277	<u>21,301</u>
	計（(F) + (G)） (I)	34,591,231	<u>38,630,452</u>
単体自己資本比率（国際統一基準） = E / I × 100（%）		12.77	<u>13.91</u>

（注） <略>

（訂正後）

項目		平成17年 9月30日	平成18年 9月30日
		金額（百万円）	金額（百万円）
リスク・アセット等	資産（オン・バランス）項目	30,016,620	32,793,018
	オフ・バランス取引項目	4,421,148	5,571,160
	信用リスク・アセットの額 (F)	34,437,768	38,364,179
	マーケット・リスク相当額に係る額（(H) / 8%） (G)	153,462	<u>165,658</u>
	（参考）マーケット・リスク相当額 (H)	12,277	<u>13,252</u>
	計（(F) + (G)） (I)	34,591,231	<u>38,529,837</u>
単体自己資本比率（国際統一基準） = E / I × 100（%）		12.77	<u>13.95</u>

（注） <略>

第5【経理の状況】

1【中間連結財務諸表等】

(1)【中間連結財務諸表】

注記事項

(デリバティブ取引関係)

前連結会計年度末

1. 取引の状況に関する事項(自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)

(5) 取引に係るリスク管理体制

(訂正前)

<略>

当行及び連結子会社のトレーディング勘定及び外国為替にかかるV a Rは以下のとおりであります。

V a Rの範囲、前提等

- ・信頼区間：片側99.0%
- ・保有期間：1日
- ・変動計測のための市場データの標本期間：1年(265営業日264リターン)

対象期間中のV a Rの実績

- ・最大値：5,131百万円
- ・平均値：3,015百万円

対象期間は平成17年4月1日～平成18年3月31日

(注) V a R (Value at Risk)とは、市場の動きに対し、一定期間(保有期間)・一定確率(信頼区間)のもとで保有ポートフォリオが被る可能性のある想定最大損失額で、市場リスク量を計測する方法であります。V a Rの金額は保有期間・信頼区間の設定方法、市場の変動の計測手法(計測モデルと呼びます)によって異なります。

<略>

(訂正後)

<略>

当行及び連結子会社のトレーディング勘定及び外国為替にかかるV a Rは以下のとおりであります。

V a Rの範囲、前提等

- ・信頼区間：片側99.0%
- ・保有期間：1日
- ・変動計測のための市場データの標本期間：1年(265営業日264リターン)

対象期間中のV a Rの実績

- ・最大値：5,181百万円
- ・平均値：2,990百万円

対象期間は平成17年4月1日～平成18年3月31日

(注) V a R (Value at Risk)とは、市場の動きに対し、一定期間(保有期間)・一定確率(信頼区間)のもとで保有ポートフォリオが被る可能性のある想定最大損失額で、市場リスク量を計測する方法であります。V a Rの金額は保有期間・信頼区間の設定方法、市場の変動の計測手法(計測モデルと呼びます)によって異なります。

<略>